

大湾区情報 No.4

Greater Bay Area Information 発行：2021年2月5日



「大湾区情報」では、日系企業の皆様に有用と考えられる最新情報をいくつかピックアップしお届けします。

【香港・マカオ居民が中国大陸で人民元口座開設可能に】



中国人民銀行を初めとする政府関連の6部門が、クロスボーダー人民元管理の更なる改善のため、「銀発（2020）330号通知」（クロスボーダー人民元政策の更なる最適化による対外貿易・投資の安定化支援に関する通知）を2020年

12月31日付で発表しました。当政策の一環として、2021年2月4日より、香港・マカオ居民の中国大陸での人民元口座の開設、送金に関していっそう便宜がはかれることになりました。

香港・マカオ居民は中国大陸の銀行にて人民元建決済口座を開き、当口座へ同じ名義の香港・マカオ銀行口座から最大1日80,000人民元までを振り込むことが可能になります。なお、中国で受領した人民元口座の預金の用途は個人消費のみと限られており、有価証券、金融派生商品、資産運用商品等金融商品の購入を行うことはできないこととなっています。

この措置により、香港・マカオと中国本土との行き来における消費や、中国内で勤務、生活する香港・マカオ居民の日常消費に大きな便利をもたらすことが考えられます。

【広州市の大湾区新産業創出拠点、テナント入居申請受付開始】



広東省人力資源及社会保障庁、広州市天河区人民政府が立ち上げた新産業創出拠点「粵港澳大湾区（広東）創新創業孵化基地」は広州市天河区東部に位置する 66,500 平方メートルを占める広大な区画に建設され、今年（2021年）3月の正式オープンを見込んでいます。

■設備概況

基地には大小のオフィススペースが計 126 室、および共有の創業ワンストップサービスコーナー、展示場、講演会場、製品試験プラットフォーム、食堂などの設備が設けられています。

■香港・マカオの若者起業家の誘致

1月17日に締め切られた第一回申請受付は、個人、団体、企業を含む 50 件のプロジェクト募集のうち、香港・マカオのイノベーション及びスタートアッププロジェクトに対して 20 件、その他地区のプロジェクト受付を 30 件と香港・マカオ向けの募集枠が多く設定されています。

当基地は 18 歳から 45 歳までの、香港・マカオ籍の居民、香港・マカオで働いて一年以上の非香港・マカオ籍居民、または香港・マカオの大学等高等教育機関で学んだ非香港・マカオ籍居民などを「香港・マカオの若者」と位置づけ、彼らのイノベーション及びスタートアッププロジェクト誘致を重点的に進めています。

同時に、香港・マカオの若者によるプロジェクトは下記の要件のいずれかを満たす必要があります：

- ①香港・マカオの若者の人数が 30%以上を占める企業、団体
- ②香港・マカオの若者個人、または香港・マカオ資本企業による持株率が 25%以上の企業
- ③香港・マカオの若者が、申請企業自身の法定代理人もしくは部長、副部长、CFO(最高財務責任者)、CTO(最高技術責任者)、CPO(最高製品責任者)、または同等の高級管理職に相当する職位を務めていること。

また、直近 3 年に香港・マカオの各政府機関、広州市天河区主催のイノベーション/スタートアップコンテストの決勝で受賞した優秀なプロジェクトに対しては審査免除で入居可能な優遇措置も設けられています。

■重点分野

基地は、最先端の科学技術プロジェクト、企業を特に重視しています。プロジェクトでは、主にデジタル文化クリエイティブ(ゲーム、アニメ、VR 等を含む)、5G、人工知能 (AI)、スマートハードウェアなどの分野の個人、企業、団体を含むスタートアッププロジェクトを重点的に誘致しています。

企業では、次世代電子情報、ハイテク設備製造、クラウドコンピューティング、ビッグデータなどの戦略的新興産業といったハイテク、高成長企業がターゲットとなっています。また今後の基地の発展に従って、誘致プロジェクトや業種は、適宜調整されていく見込みです。

■無料レンタル期間最長 3 年

プロジェクトにより、支援の内容やレベルが異なります。基地に誘致されたスタートアッププロジェクトは、最長で**3**年の期間、賃料無料で入居という優遇を受けることができます。非スタートアップ企業に対しては、賃料を徴収し競売形式で賃貸スペース及び賃料が決められます。その最大賃貸期間は**5**年までとなっています。

【広仏スーパーシティ建設スピードアップ
仏山三龍湾での進行中プロジェクトへの投資額は**1,470** 億人民元に】



大湾区の新たなインフラ計画として、広東省の広州市と仏山市、隣り合った二つの市を一体化させた「広仏スーパーシティ」を構築する計画が進んでいます。その中で、「仏山三龍湾」は広州市・仏山市における高レベル開発試験区のパイロットゾーンとして、鉄道、交通インフラ以外で**174** 件、投資額**1,900** 億人民元を超える主要建設プロジェクトが控えており、そのうち**55** 件のプロジェクトが進行中で、その総投資額は約**1,470** 億人民元にも達しています。

三龍湾は地理的に広仏スーパーシティの最前線であり、また仏山と香港、マカオ、広州、深圳といったイノベーション回廊とをつなぐ重要なプラットフォームでもあります。

以下、代表的なプロジェクト、企業をご紹介します。

■総合施設「広仏荟」

「広仏荟(広佛荟)」は広州市、仏山市両市の最初の共同プロジェクトで、総投資額は50億元。仏山市南海区三龍湾と広州市番禺区の境界、香港からの高速鉄道の終点駅でもある巨大鉄道ターミナル、広州南駅にほど近い場所に位置する総合施設になります。広仏荟を広州市、佛山市の一体化における代表的なプロジェクトとするべく、両市の国有企業が協力し、共同出資した合弁会社が設立されました。将来的に、広仏荟は産業界・学界・文化などのショーケースおよびコミュニケーションプラットフォームとなり、交通、ビジネス、ショッピング、レジャーなどの機能を担うこととなります。

■季華研究室

(Ji Hua Laboratory: <http://jihualab.ac.cn/>)

三龍湾では、テクノロジーイノベーション産業に関するプロジェクトも続々と決定しています。大湾区での発展のチャンスをつかむために、多数のインターネット、インテリジェント製造分野のハイテク企業が三龍湾に本社を置いています。例えば広東省委員会及び広東省政府による四大広東省研究室プロジェクトの一つである季華研究室。季華研究室はすでに国家・省レベルのプロジェクトを10件勝ち取っており、プロジェクト総費用は5.1億元に達しています。

■深圳市大族機器人有限公司

(Shenzhen Han's Robot Co.,: <https://www.hansrobot.net/>)

深圳証券取引所上場企業の大族激光(Han's Laser)グループ傘下のロボット製造専門企業、深圳市大族機器人有限公司の新しいグローバル本部が三龍湾にてすでに着工しており、完成後、深圳に工場を構えていた同社のサプライチェーン、産業チェーン約20社が同地域に集まってくることが期待されています。

■虎牙公司

(Huya Live: <https://www.huya.com/>)

中国最大手のゲーム実況ライブサイトを運営する、広州市に本部を置きニューヨーク市場上場企業である「虎牙(Huya)」がグローバル研究開発本部を三龍湾に 20 億人民元投資する計画となっており、同社の取引先を始めとする 5,000 人ほどの IT 人材が集まってくることが期待されています。

これら以外にも、この三龍湾にインフラ企業、香港理工大学分校など多くのプロジェクトが目白押しとなっています。

【参考資料】

・クロスボーダー人民元政策の更なる最適化による対外貿易・投資の安定化支援に関する通知（銀発(2020)330 号通知）

<http://www.scio.gov.cn/xwfbh/xwbfbh/wqfbh/44687/44760/xgzc44766/Document/1697037/1697037.htm>

・粵港澳大湾区（広東）創新創業孵化基地で香港マカオの若者創業プロジェクト 20 件募集

http://www.cnbayarea.org.cn/news/focus/content/post_306158.html

・最大 3 年間賃料無料 粵港澳大湾区（広東）創新創業孵化基地への入居申請受付開始

http://www.cnbayarea.org.cn/news/focus/content/post_306310.html

・広仏スーパーシティ建設スピードアップ

仏山三龍湾の進行中プロジェクト投資額は 1,470 億人民元に

http://www.cnbayarea.org.cn/news/focus/content/post_307588.html

